

角田支局記者 藤井宏匡の Let's KAKUDA!

「企業より起業」

今月初め、厚生労働省が人口動態統計（概数）を公表しました。2024年に生まれた子どもは68万6061人。統計開始以降初めて70万人を割り込みました。就職氷河期世代を中心とした経済的な課題。ライフスタイルの多様化。原因は多岐にわたると思います。国の将来の希望を持てず「子どもたちに申し訳ないから生まない」という考えもあるようです。

収入が増えれば多少は数字が上向くかもしれません。子育て支援策、出産応援などの政策も、少しばかりは刺激になるかもしれません。ですが、そもそもの話、婚姻者の減少が背景にあります。

こども家庭庁の資料を見ると、婚姻数は1972年の109万組がピーク。23年は47万組と、半数以下になっています。結婚と出産の相関性が強い日本において、影響は大きいと感じられます。

では、どうすれば婚姻数を増やせるのか。答えは分かりませんが、先ほどの資料に面白いデータがありました。「見合い婚」か「恋愛婚」かの統計で、近年新たに「ネット」が加わっています。直近では、想像通り恋愛婚が74・6%と最も高いのですが、次点はネット。15・2%と、見合い婚の9・9%を上回っていました。

なるほど、確かに最近の身の回りで結婚した人で「出会い系アプリ」「オンラインゲームで知り合った」との話が珍しくなくなりました。インターネットを通じた知り合い「ネッ友（とも）」を持つ子どもが多い時代。未来の婚活の中心はここになるかもしれません。

最後に、地方においては、出生数・率と共に大きな課題として立ちはだかる「流出」についても触れたいと思います。

宮城県の人口流出は、仙台市の「支店経済」が要因一。他紙で恐縮ですが、先日、専門家による分析を紹介する記事が掲載されました。宮城県は、東京圏に本社がある事業所（=支店）の割合が全国で最も高く、必然的に、若者が就職する際は東京の大企業に就職してしまう

のこと。また、大学進学時の流出率の高さについても解説。仙台市は東北各県の若者を呼び込んでいるものの、結局は「東京への中継地」に過ぎないと指摘していました。

地方ほど民間企業の就職口が少なく、結果として、公務員人気の高さが目立つ印象です。地元に「十分な収入が見込める」仕事がたくさんあれば、流出を防ぐ効果を期待できます。

個人的には、工場誘致ではなく、地元を拠点とした企業が増えることが望ましいところ。なかなか難しいとは思いますが、たとえ小さくともどんどん起業する風土が生まれると、地域の持続性にもつながる気がします。城下町として栄えた角田。「起業城下町」を目指すのもいいかもしれませんね。



編集後記

どうやら東北南部も梅雨入りした模様。しかし梅雨らしくなる前に猛暑がやって来ちゃいました。湿気が多く気温の高い日には熱中症予防にもご留意ください。こまめな水分補給をお忘れなく。田んぼの稻も順調に生育している様で角田らしい緑濃い水田風景がとても良いですね。この暑さで水不足なんてことにならなければ良いのですが…。今年はコメ不足になりませんように…。豊年満作を切に願います。アジサイも咲き揃って参りましたが、このところの暑さで日向の部分は花がチョリチョリになっちゃいました(T_T)

次回「あんふいに」は7月27日(日)発行予定です。

河北新報角田支局 藤井宏匡
TEL 0224-62-1568 / FAX 0224-62-0707
kakuda@po.kahoku.co.jp

*連絡の行き違い防止のため、
配達に関する連絡は販売所
までお願いいたします。⇒

編集 河北新報角田支局

発行 〒981-1505
角田市角田字泉町137-2
0224-63-3154

皆様の元気のお手伝いを

第443号

令和7年7月号
【毎月最終日曜日
発行予定】

月刊あんふいに

新聞購読料金 集金をご利用の ご愛読者の皆様へ

いつも新聞のご購読をいただきまして誠に有難うございます。インフルエンザやコロナウイルス等々感染症拡大防止の事もあり、この機会に新聞購読料金の口座振替・カード支払いをお願いしたく、ここに御案内させていただきます。何卒ご理解の上宜しくお願い申し上げます。

口座振替可能な金融機関及びクレジットカード

金融機関	七十七銀行 仙台銀行 仙南信用金庫 郵便局 JAみやぎ仙南
クレジットカード	日専連 JCB VISA Master

- ◆口座振替申込書は各金融機関（角田支店）窓口にございます。お申し込みの際は通帳と口座登録印をご持参下さい。
- ◆カード支払いご希望の方は当店までお電話ください。

●口座振替又はクレジットカード支払い変更のお申し込みは集金員またはお電話でも承っております。



●営業時間●
9:00 ~ 16:00

河北新報角田専売所
目黒新聞店
☎ 63-3154

7月の新聞休刊日は
7月14日(月)です

○当店の営業時間は【午前9時~午後4時】となっております。

※新聞休刊日は、事務所も含め全店休業日とさせていただいております。

